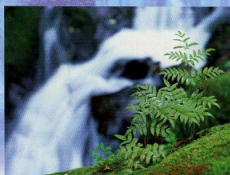


法勝寺川の源流を探る ～川を中心とした地域の活性化をめざして～

今日ほど自然環境の重要性が問われているときはないでしょう。

去る7月26日(土)に法勝寺川の源流探査が行われました。このイベントを計画された西伯町の建設水道課長 藤原さんにお話をうかがいました。

見渡せば私たちの地域にはまだまだ自然がいっぱいです。遠くにも目をやれば、みどり多き山々。そしてそこには永年にわたって森が創られ多くの木々がうっそうと茂っている。その中で小鳥たちは、楽しくさえずりを競い合っています。



足元に目をやれば私たちとその祖先が植えて、育て、守ってきた木々が蓄えた百年の地下水が、小川となり法勝寺川となり、一日も休まず私たちに今日も潤いを与えてくれています。毎日当たりまえのように使っている水、当たりまえのように吸っている空気。それらがもし、当たりまえでなくなったら……。"物を大切に作る心、自然の恵みをありがたいと思う心をもっともっと感じてもらいたい、未来に受け継ぎたい" そんな思いから地元大木屋地区の方の協力を得て、西伯町役場、樹言塾(林業研究グループ)、日野川河川事務所を中心に法勝寺川流域の米子市尚徳地区の小学生とその保護者などが参加して行われました。





思いを込めて建てる源流の碑

総勢約 70 名にてさあ出発。国道 180 号 西伯町大木屋 五輪峠手前
200m から川沿いに山道を歩くこと約 30 分、ようやくたどり着いた場所は大自然の真ん中に位置しています。杉の木がおい茂る山中を歩きながら新鮮な空気を胸いっぱい吸い込み子ども達は元気いっぱいでした。到着後、日野川下流から拾ってきた石に全員が各々の思いを書き込み、それを基礎として使い「法勝寺川源流の碑」を建てました。源流の水はとておいしく参加者ののどを潤しました。

現地へ行くには国道に入口の看板が立っているわけではなく、何気なく通り過ぎてしまうような場所ですが一度訪ねて大自然と向き合ってみるのもいいかもしれません。

「下流域の人たちにも是非、地元の川をもっと知ってほしい。源流を訪ねながら自然とふれあって自然の恵みを感じ、ありがたさや大切さに思いを寄せる。そんな人たちが少しずつでも増えてほしい。日常生活の中では感じないことをあらためて感じてほしい。」と藤原さんは言う。

小さな湧き水が集まり小川になり川となって流れている。その水が作物を育て私たちの生活を潤している。地元の小さな試みが大きな自然環境への関心とつながっていくことで私たちの未来が守られるのではないだろうか。



杉の木がおい茂る中を歩くこと 30 分



みんなで作った源流の碑と一緒に「ハイ、ポーズ」

法勝寺川源流についてのお問い合わせ先
西伯町役場 建設水道課
(0859 - 66 - 3111)